



新本庁舎建設の様子



武石地域総合センター建設の様子

土に対する愛着や誇りシビック・プライドの醸成にも一層力を入れてまいります。

また、経済の持続的な発展に向け、「上田市中小企業・小規模企業振興条例」を制定し、地域経済に大きな役割を果たしている中小・小規模企業の振興を図っていくこととしました。

さらに、障がいの有無に関わらず、全ての市民に等しくコミュニケーションの機会が確保され、個性や人格が尊重される共生社会の実現をめざし、「上田市手話言語の普及及び視聴覚障害者等の意思疎通手段等の利用促進」に関する条例を制定しました。今後、つながらりと多様性を大切にする市民総参加のまちづくりを推進してまいります。

一方、市役所新本庁舎および武石地域総合センターの建設工事と、丸子地域自治センター庁舎の耐震改修工事につきましても、今年度中の完成を目指して工事を進めており、武石地域総合センターは今春3月末に、また、新本庁舎は5月から順次業務を開始する予定です。機能的で利用しやすく、また、安全で安心な暮らしを支える、協働の拠点となる施設としてまいります。



下之条自治会 同意書 手交式

資源循環型施設建設に向けた取組

上田地域広域連合が計画し、市としても最優先課題に位置付ける資源循環型施設建設につきましては、「資源循環型施設検討委員会」の協議結果に基づき「資源循環型施設建設の基本方針」を策定し、住民説明会を開催いたしました。

その後、地元関係団体で構成する資源循環型施設建設対策連絡会から、施設の周辺環境への影響に関して科学的に調査を行う環境影響評価の実施について合意をいただき、広域連合において手続きが開始されました。

一方、清浄園に代えて、南部終末処理場内へ、し尿前処理下水道投入施設を建設する計画につきましては、地元下之条自治会と話し合いを続けてきた結果、施設受け入れに同意するとの回答をいただきました。

資源循環型施設の計画は、新たな段階へと大きく前進することができました。関係する地域住民の皆様のご理解とご協力に、深く感謝申し上げますとともに、



第二次上田市総合計画審議会の最終答申

第二次上田市総合計画「後期まちづくり計画」の策定

平成28年度にスタートした第二次上田市総合計画「前期まちづくり計画」が今年度をもって計画期間の満了を迎えることから、令和3年度から5か年の「後期まちづくり計画」の策定を進めてまいりました。

昨年11月、総合計画審議会の最終答申を受けて計画案をとりまとめ、昨年12月の市議会定例会において議決いただいたところであります。

策定にあたっては、幅広い世代や様々な立場の市民の参画と意見の反映に努めるとともに、深刻化する人口減少・少子高齢化などの諸課題に対応するため、「上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を一体化したほか、気候変動や、感染症の拡大といった社会的課題の解決に向け、持続的発展を目指す「SDGs」を持続

可能な開発目標」の取組を各施策に反映させました。さらに「子育て支援」と「最先端技術活用」を新たに重点プロジェクトに位置付け、横断的かつ戦略的に推進することとしています。

総合計画の将来都市像「ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる 健康都市の実現に向け、市民お一人おひとりと共に、まちづくりを進めてまいります。

新たな時代に向けて

市では、「上田市スマートシティ化推進計画」の策定を進めており、先進技術やデジタルツールを活用し、住民サービスの向上や行政事務の効率化、産業や公共交通など様々な地域課題の解決をめざすとともに、新しい生活様式のもとでの暮らし方、働き方の変化も踏まえ、施策を検討しています。

先を見通すことが困難な状況にあっても、希望を失わず、知恵を持ち寄り、まちづくりを実践することで、私たちは、新たな時代に歩を進めることができます。

今年（丑）年です。最晩年の夏目漱石は、門下の芥川龍之介と久米正雄（旧上田町出身）に、「牛のように、ずんずん進め」という内容の手紙を出しています。漱石は、牛を真面目で、根気よく取り組むもの象徴として、2人を励ましたとのこと。市民の皆様、共に牛のようにずんずん進んでまいります！

結びに、本年が、市民の皆様にとつて、明るく健康で幸福な年となりますことをお祈り申し上げます。



上田市長
上田 隆弘

昨年（も）は、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、人々の暮らしを一変させ、社会経済に深刻な打撃を与えた一年となりました。

市内におきましても、小・中学校の臨時休業や、公共施設の休館などの措置を余儀なくされ、上田城千本桜まつりをはじめとした各種行事も中止せざるを得ない状況となりました。

感染拡大防止に多大なご協力をいただいている市民・事業者の皆様、また、医療従事者をはじめ、市民生活を守るために尽力されている多くの皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

市では、昨年4月に新型コロナウイルス感染症対策室を新設し、市民からの相談や感染防止に向けた取組、保健所との連絡調整などの業務を行う体制を整え、国や県、関係機関・団体などと連携し、感染症対策に全力を挙げてまいりました。

また、コロナ禍における生活支援策に積極的に取り組む、子育て世帯やひとり親世帯を支援するための臨時特別給付金事業などを実施するとともに、地域経済を支えるための事業者支援策として、業種ごとに各種給付・補助制度を創設したほか、消費喚起応援事業として、スマートフォン決済事業者と連携した県内初のポイント還元キャンペーンを行いました。ソーシャル・ディスタンスが求められる

「新たな日常」の中で、人とのつながりが、いかにかけがえないものか、また私たちの社会がどれほど多くの人によって支えられていたのかに、改めて気づかされることになりました。

市では、差別や偏見などの無い社会、健やかな暮らしと活気ある地域経済の実現をめざし、昨年10月、関係団体の皆様と共に「コロナ禍を、みんなで共に乗り越えよう！共同宣言」を行いました。

市民の皆様が命と暮らしを守り、共にこの難局を乗り越えるべく、今後も全力で対策に取り組んでまいります。

令和元年東日本台風災害からの復旧・復興

東日本台風災害からの復旧・復興につきましては、被害を受けた道路、河川、農林業施設などは、その多くが応急復旧を終え、国・県事業とも調整を図りながら本復旧工事を進めています。

一方、上田電鉄別所線につきましては、千曲川に架かる橋梁の一部が落橋するなど甚大な被害に見舞われましたが、多くの皆様のご支援により、今春3月28日に全線開通する見通しとなりました。

市では、この災害を教訓とし、避難場所の確保や防災用資器材の備蓄の充実、災害ハザードマップの更新などを進めて



生島足島神社 冬至の夕陽

昨年を振り返りますと、6月には、「レイラインがつなぐ『太陽と大地の聖地』と龍と生きるまち信州上田・塩田平」と題した本市の文化遺産群が、文化庁の日本遺産に認定されるという大変喜ばしい出来事がありました。

市では、関係団体などで構成する「上田市日本遺産推進協議会」を設立し、地域振興や魅力発信に努めるとともに、郷

市政を振り返って

昨年を振り返りますと、6月には、「レイラインがつなぐ『太陽と大地の聖地』と龍と生きるまち信州上田・塩田平」と題した本市の文化遺産群が、文化庁の日本遺産に認定されるという大変喜ばしい出来事がありました。

市では、関係団体などで構成する「上田市日本遺産推進協議会」を設立し、地域振興や魅力発信に努めるとともに、郷



別所線千曲川橋梁復旧工事の様子

明けましておめでとうございます
共に乗り越えて、新たな時代へ



動画でもご覧いただけます



令和2年度 上田市功労者表彰式

特別表彰2件をはじめとした個人39件、団体20件を表彰

11月18日(水)、令和2年度上田市功労者表彰式を、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で開催し、市政の各般にわたり御尽力をいただきました皆様を表彰いたしました。受賞された皆様は次のとおりです(順不同、敬称略)。

- 技能表彰 2名**
- 〔優れた技能を有し、技術の向上・後進の育成について特に功績のあった皆様〕
 - 内田 良平 (農業) 内堀 三男 (農業)
- まちづくり表彰 1名・8団体**
- 〔地域づくりや上田市のイメージアップにおいて特に功績のあった皆様〕
 - 小山 一正 (多数の大型模型を製作し地域活性化)
 - 上田市東部地区「安心」の地域づくりセミナー実行委員会 (認知症の方と地域でともに暮らしていくためのセミナー開催)
 - 「安心」の地域づくりセミナー同窓会 (高齢者サロンや高齢者宅訪問ボランティアなど住民互助の活動)
 - 上田・城下町活性化会 (上田城の歴史文化を活用した地域づくり)
 - 元祖・シャッターマン (観光客への写真撮影等の「おもてなし」活動)
 - 塩田ボランティアガイドの会 (塩田地域の魅力を伝える取組)
 - 塩田平民話研究所 (地域の民話を活用した地域づくり)
 - マダラヤンマ保護研究会 (自然環境の保護活動)
 - ヤマンバの会 (自然や里山の保全活動)

- 善行表彰 4名・4団体**
- 〔地域の環境美化や社会福祉活動などのボランティア活動で特に功績のあった皆様〕
 - 田中 三喜男 (環境美化活動) 垂澤 袈裟男 (環境美化活動)
 - 田中 悦朗 (青少年の健全育成活動) 清水 正行 (自然保護活動)
 - 浦里小子ども見守り隊 (安心安全なまちづくり活動)
 - 西小見守り隊 (安心安全なまちづくり活動)
 - 上田市上下水道事業協同組合 (社会福祉活動)
 - 丸子水道工事業協同組合 (社会福祉活動)
- 消防部門(消防活動に尽力された皆様)**
- 小田中 晋 (消防団役員) 金子 隆博 (消防団役員)
 - 藤澤 祐一 (消防団役員) 山口 栄治 (消防団役員)
- 産業部門(産業経済の振興発展に尽力された皆様)**
- 大久保 孔夫 (商工関係団体役員) 久保田 茂登 (観光関係団体役員ほか)
 - 小林 泉 (土木・建築関係団体役員) 浅田 正義 (寄附)
 - 上田市大豆採種組合 (種子大豆の受託生産など大豆生産安定化)
 - 陣場台地研究会 (ワイン用ぶどう畑整備やワイナリー誘致)



謝辞(受賞者代表 田畑裕康さん)



令和2年度 優良建設工事表彰式



優良建設工事表彰式(11月18日) 出席者の皆様

令和元年度に、しゅん工した上田市発注の請負金額200万円以上の建設工事は196件で、その内請負金額が500万円以上の建設工事は148件でした。

この中から、市内に本社のある建設業者、または市内に本社がある建設業者を含む共同企業体が施工し、工事成績評定点が85点以上の工事を対象に、優良建設工事審査委員会が審査し、9件を選定しました。11月18日(水)に、その工事を施工した建設業者と現場代理人を表彰しました。

受賞者は次のとおりです(敬称略)。

- 株式会社倉島建工
- 株式会社創恒
- 児玉興業株式会社
- 株式会社CTSラインテック
- 株式会社高樹
- 株式会社堀内建設
- 有限会社宮島工務店
- 有限会社小林商会
- 有限会社田口建設

☎ 契約検査課 ☎ 23・5257



サンクス株式会社



真田地域の老朽化した福祉施設の整備および高齢者や児童が利用するバスなど地域交通の充実のため、複数回にわたる高額寄附をいただき、市の社会福祉の充実、地方自治の振興発展に多大な貢献をされました。

特別表彰 1名・1団体

窪島 誠一郎

〔市民に夢や希望を与えるなど、その功績が特に顕著な皆様〕



村山槐多をはじめとした天折の画家たちの貴重な作品を収蔵した「信濃テッサン館」、戦没画学生たちの作品を収蔵し、平和と命の尊さを伝える鎮魂の美術館「無言館」の館主として市の文化芸術の振興、平和の推進に多大な貢献をされました。

功労表彰 31名・7団体

- 自治部門(地方自治の振興発展に尽力された皆様)**
- 田畑 裕康 (自治会長)
 - 安藤 民子 (選挙管理委員会委員)
 - 荻原 好 (税収協力関係団体役員)
 - 桑原 茂実 (税収協力関係団体役員)
 - 三井 英和 (税収協力関係団体役員)
- 教育・文化・スポーツ部門**
- 〔教育・文化の向上発展やスポーツの振興に尽力された皆様〕
- 岸 茂 (学校医)
 - 草間 俊樹 (学校歯科医) 宮淵 啓子 (学校歯科医)
 - 林 信夫 (社会教育関係団体役員)
 - 宮崎 昭子 (社会教育関係団体役員)
 - 橋詰 和夫 (スポーツ推進委員)
 - 井出 康生 (スポーツ団体役員)
 - 佐藤 幸四郎 (スポーツ団体役員)
- 特定非営利活動法人やまほろ自然学校 (自然を活かした環境教育)

● 社会部門

- 〔社会福祉の充実や市民生活の安定向上に尽力された皆様〕
- 古川 友枝 (民生委員・児童委員)
 - 石坂 秀司 (保護司) 片山 功夫 (保護司)
 - 高柳 正幸 (保護司) 西澤 興一 (保護司)
 - 関口 よね子 (人権擁護委員)
 - 曾根 清和 (薬剤師会役員) 中村 俊 (薬剤師会役員)
 - 中島 茂 (保健衛生関係団体役員)
 - 関川 久子 (こみ減量アドバイザーほか)
 - 上田市多文化共生推進協会 (国際化・国際交流推進)
 - エコ・サポート21 (上田市リサイクル活動拠点施設「エコ・ハウスの運営
 - 特定非営利活動法人一匹でも犬・ねこを救う会 (野良犬や野良猫の命を守る取組)
 - 点訳サークルでんでん虫の会 (市広報紙・市議会広報紙の点訳など)

これまで以上に緊張感を持ち、関係機関と協力し、感染拡大防止に全力で取り組んでいきます

新型コロナウイルス感染症に対する取組

上田圏域における感染拡大は多くの方の御尽力により一度落ち着いたものの、11月以降、全国的な感染者の増加に伴い、市内でも複数の新規感染者が確認される事態となりました。感染経路不明な方の増加などもあり、これまで以上に緊張感を持ち、関係機関と協力し、感染拡大防止に全力で取り組んでいきます。また、インフルエンザ流行期に備えた発熱患者の外来診療や検査体制の確保を図り、市民の皆様が安心して受診できるように、市内医療機関への支援策に係る経費を今定例会に計上しました。

令和3年度当初予算編成に向けた取組

厳しい経済や社会の情勢を踏まえつつ、令和3年度が第二次上田市総合計画(後期基本計画)(後期まちづくり計画)の初年度に当たることから、総合計画に掲げる将来都市像実現に向け、令和3年度当初予算編成方針を公表するとともに予算編成作業に着手しました。目指すべき将来都市像として掲

げた「ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる健康都市」を一步ずつ前に進めていくため、前例に捉われず、聖域なき施策の見直しを図りながら「SDGs(持続可能な開発目標)」達成に向けた視点も念頭に、コロナ禍で一変した社会に的確に対応していくため、限られた財源をより効率的、効果的に配分し、将来を見据えた持続可能な財政運営に十分留意した上で、市民ニーズに沿った柔軟かつ機動的な予算となるよう取り組みます。

と協力して、殿城地区(岩清水)に整備を進めてきたクラインガルテン(滞在型農園)については、来年4月の供用開始に向け、今定例会に関係条例を提案しました。

農業振興に対する取組

農地の流動化政策については、従来の農地利用集積円滑化事業から農地中間管理事業への移行を進め、今年度から農地相談、農地情報の一元管理などをワンストップで対応できる体制を整備しました。農地中間管理事業の核となる「人・農地プラン」については、昨年度実施した市内全農家を対象としたアンケート調査結果等をもとに、関係機関と協議を進め、今年度末のプラン公表に向け取り組んでいきます。

また、都市と農村との交流促進などを図るため、県と地元の皆様

健康福祉に対する取組

市民の皆様にも、体だけでなく脳の健康にも関心を向けていただく

健康福祉に対する取組

市民の皆様にも、体だけでなく脳の健康にも関心を向けていただく



上田駅前前で感染予防の呼びかけを行う土屋市長(11月20日)



提案説明はインターネットで動画・全文をご覧いただけます

公立大学法人長野大学に関する取組

令和3年4月の設置を目指して、いままで社会福祉学系大学院が、10月23日付で認可されました。大学院は、社会福祉学部での教育、研究を一層発展させる形で「総合福祉学研究所」とし、社会福祉学および発達支援学の2専攻により、地域社会の福祉課題解決に貢献する高度専門職業人と研究者の育成を目指します。大学院設置により、社会福祉の研究や教育に深く携わることを目指す学生や、学び直しを望む社会人のリカレント教育の機会拡大に寄与できるものと大いに期待しています。

マイナンバーカードの交付申請ができる特別な1日です!

豊殿・塩田・川西地域自治センターで1日出張申請窓口を開設します

予約制



市民課 ☎23・5334

STEP 2 自宅でマイナンバーカードを受け取る

申請から概ね1か月半後に本人限定受取郵便で住所地にカードを送付します。カード受取時に郵便局員に本人確認書類を提示する必要があります。

STEP 1

STEP 1 申請時に本人確認や暗証番号の設定などを行う

申請用の写真は、会場で無料撮影します。必ず申請者本人が会場へお越しください。

STEP 1

完全予約制 ですので、申請希望日の2日前までに市民課(☎23・5334)へ電話で予約ください。

Table with columns: 期日, 時間, 会場. Dates: 1月28日(木), 2月4日(木), 2月10日(水). Locations: 豊殿地域自治センター, 川西地域自治センター, 塩田地域自治センター.



持ち物 (①~④が必要になります)

- ①通知カード(お持ちの方のみ) ②住民基本台帳カード(お持ちの方のみ) ③印鑑 ④本人確認書類



(通知カード)

④本人確認書類は何を持っていくの?



注意事項 次の場合は、申請者本人がマイナンバーカードの受け取りに市民課窓口へお越しいただく場合があります。 ●申請時の持ち物に不足があるとき。 ●郵送したカードを受け取ることができず、郵便局での保管期間経過のため市へ返戻されたとき(郵便物の再送付はできません)。

その他

- 通知カードおよび住民基本台帳カードは、申請時に窓口で返納していただけます。 ●申請者が15歳未満の方または成年被後見人の場合は、必ず法定代理人が同行し、申請者の本人確認書類に加えて、法定代理人の本人確認書類と法定代理人であることが確認できる書類の原本をお持ちください。(申請者が15歳未満の場合).....戸籍謄本が必要になります(申請者と法定代理人が別世帯で、本籍が上田市にない方)。(申請者が成年被後見人の場合).....成年後見登記事項証明書が必要になります。